

年賀状の発行枚数

私自身、2025年度の年賀状で、来年度（2026年）から年賀状を出さないことを（年賀状じまい）を記載させていただきました。世の中でははがきの価格高騰やSNSの発展を機に、年賀状じまいを行う企業や一般の方々が急増しているようです。

二足の草鞋（わらじ）

シンガーソングライターの小椋佳さんは、曲を作りながら銀行にも勤めておられました。そんな小椋さんに某アナウンサーがインタビューで「二足の草鞋（わらじ）」は大変だったでしょう」と尋ねたところ、「その言葉はちょっと意味が違う」と仰ったそうで、インタビュー後にアナウンサーが意味を調べてみると、とんでもない思い違いをしていることを知ると同時に小椋佳さんは言葉を大切にされているんだなと改めて認識したそうです。

そこで気になったのが年賀状発行枚数の推移。調べてみました。

年賀状はがきは1949年発行（1950年用）が戦後初めてで、当初は1.8億枚でした。その後増え続け、ピークは2003年で、44.6億枚を記録しました。その後減り続け、本年発行（2026

年用）は7.5億枚で前年比約30%の大幅減となっています。人口減少の影響を除外するため、総人口あたりの発行枚数を算出しても、発行枚数推移とほぼ同じ形で減少しています。ピークは2003年で、一人当たり34.9枚、2025年発行で6.1枚まで減少しました。

つまり泥棒が警察官を兼ねているようなものですから、本来ならありえないことなので「二足の草鞋」は決して肯定的な言葉ではなかったのです。

と言いながら、現在もたまに泥棒した警察官のニュースを聞くことがあります、さすがに認められていませんので、二足の草鞋ではありません。あしからず（笑）

**Nさんのご家族ご紹介**

先月号でご紹介しました新しい仲間Nさんのご家族（うさぎ）のご紹介です。

雑種のミニウサギで名前は“おもち”、男の子です。誕生日

は2024年8月6日。N家にやって来たのは同年9月26日。目の中に入れても痛くないくらいに愛され、可愛がられている“おもち”君、やって来た時700gだった体重は現在2,300gにまで成長しました。

甘えん坊の“おもち”君、Nさんが家事をしている時には、サークルごと自力でNさんのところまで移動してくるそうです。「サークルの意味ないやんか」と呟きながら、その健気さが可愛くて可愛くて仕方がないそうです。

**ステンレス六角棒**

弊社大阪工場ではステンレスの母材（主に線材コイル）から断面が角、六角、平角（長方形）、平線（ラウンドエッジ）やそれ以外の形状（異形線）を製造しています。今回は六角のご紹介です。

・製造可能サイズ（対辺）

3H～14H、17H

・寸法公差（JIS G 4318）

3を超える 6以下→+0,-0.075mm(h11)
6を超える 10以下→+0,-0.090mm(h11)
10を超える 14以下→+0,-0.11mm(h11)
17H→+0,-0.18mm(h12)
・ご注文受諾可能数量（※SUS304）
3H～4H→100kg～
5H～6H→200kg～
7H～9H→300kg～
10H～14H→500kg～
17H→500kg～

「ラーメン同好会」

弊社・富山工場で「ラーメン同好会」が発足されました。



まだ正式には活動しておりませんが、会社周辺からラーメン屋さんを少しづつ開拓していく、忌憚のない評価をしていく予定とのことです。

そんな会が大阪にもあったらなあと思いながら、体重増加が気になる私です。でもラーメンってどうしてこんなに魅力的なのでしょうか。

※SUS304以外の鋼種は別条件になります。

・納期

→鋼種、数量によって変わりますので、別途お打ち合わせとさせていただいております。

・PRポイント

他社製品と比較して表面肌が綺麗とのご評価をいただいております。是非、一度ご覧ください。

ヨシナカ新聞

1月号

発行所

株北陸ヨシナカ

TEL: 072-977-8861

FAX: 072-976-0634